



『世界は恩で繋がっている』

中川 心之介

この海外研修での学びを一言で表すなら『恩』。

初日の JICA 事務所の訪問で、東海道新幹線の開通や黒部ダム建設に世界銀行が協力してくれていたということを初めて知った。経済発展して、インフラが整備された後の日本しか知らないような私にとっては驚きだった。誰かがしてくれた恩をその人やその国に返すのも、してもらったことを他の人にしてあげるのも恩返し。今、過去に日本が受けた支援、またはそれ以上のことを、インドネシアをはじめ、様々な国にしている。インドネシアの人々にとっても、それは恩である。やがて、日本の経済が停滞して、伸び悩む中で、今度は発展したインドネシアが、恩返しとして日本のさらなる発展に協力してくれる未来が見える。

国際協力は、こうして全て恩で繋がっていて、その恩返しの循環が、国際協力の本質なのかなと思った。JICA の「信頼で世界をつなぐ」という言葉の意味が少しわかった気がした。私は世界中でフェアトレードを当たり前にしたと思って活動している。この旅で、そのフェアトレードの根底にあるのも、恩を知ることだと気づいた。品質に見合った価格で取引することは、美味しいコーヒーを作ったださる生産者の方々への感謝を示し、恩返しをする一番の方法である。

国際的な取引の中でフェアトレードを当たり前にすることを志す人間として、いつどんな時でも「恩」を忘れない人間になりたい。